



日本共産党

北区議会議員

のの山けん区政レポート

http://www3.kitanet.ne.jp/~nonoyama/ E-mail nonoyama@kitanet.ne.jp

No.84 2009.5.14

発行

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に

090-2156-3510

小沢民主 代表辞任

疑惑にこそ答えるべきだ

辞任記者会見では西松違法献金問題で開き直り

民主党の小沢一郎代表は11日、記者会見をおこなない党代表を辞任する意向を表明。翌日、民主党はこれを了承し、新しい代表を選出することを決めました。

小沢氏の政策第一秘書は、準大手ゼネコン「西松建設」から違法な献金を受け取り、政治資金収支報告書でその届け出をしてきた疑いで逮捕・起訴されています。

日本共産党の市田書記局長は小沢氏の辞任について国会内で記者の質問に答え、「西松建設がらみの献金疑惑での国民の厳しい批判の前に、代表辞任に追い込まれたというのが事の真相だ」と指摘しました。

「やましくない」というが…

小沢氏は記者会見で辞任を決めた理由について「次期総選挙での必勝、政権交代実現のため」

「挙党一致をより強固にするため」などのべましたが、違法献金問題については「一点のやまし直りません。しかし、小沢氏側が2つのダミー団体を通して西松建設から受け取った献金は総額1億2900万円にのぼります（起訴されたのはこのうち3500万円）。今回の事件は、居直りが通用しないほど悪質で闇の深い疑惑です。

国民への説明責任を果たすべき

民主党は「政権交代」などという前に自浄能力を発揮し、疑惑に対する国民への説明責任をしっかりと果たすべきです。

いまこそ日本共産党

そね都議、池内青年運動部長が決意表明

日本共産党北地区委員会と同北区後援会は7日、赤羽会館で党と後援会合同決起集会を開きました。

7月12日の都議会議員選挙にむけて決意表明に立った、そねはじめ都議は「都民のみなさんの声を都政に届けるため、都議会の最前線でがんばってきまして。引き続き議会に送り出して下さい」と訴えました。

また、池内さおり衆院東京12区青年運動部長は「秋までには必ずおこなわれる総選挙で、日本共産党の躍進をかちとりましょう」とよびかけました。



党と後援会合同決起集会で決意表明する、そねはじめ都議（上）と池内さおり衆院東京12区青年運動部長（下） 5月7日、赤羽会館

日本経済の立て直しは社会保障充実でこそ

北区社保協が学習会 二宮厚美・神戸大教授が講演



13日夜、北とぴあ・つじホールで、北区社会保障推進協議会が主催する学習会が開かれ、二宮厚美神戸大教授が「『百年に一度』の危機のなかの医療・社会保障」と題して講演をおこないました（写真）。

二宮氏は冒頭、「今のゆきづまった日本経済を立て直すためにも医療・社会保障を充実させる必要がある」とのべました。現在の大小況に恐れについて二宮氏は

「新自由主義が生み出した格差社会が出发点」とのべ、貧困の広がりとともに、もう一方では過剰資金が蓄積され、「1杯1万円のコーヒー」や「1泊100万円のホテル」を享受している人たちがいることを紹介。ものがありすぎるのに、貧困が広がって国民の購買力が追いつかないことに問題があると指摘しました。

また、サブプライムローンを起点にした証券バブルの構造をわかりやすく説明しながら、米国では貧困者が軍隊に入ることや生活に救いを求めている生々しい実態を紹介。日本では「憲法9条と25条がある。平和と生存権でくらしを守りましょう」と力強くよびかけました。

最後に二宮氏は再度「医療、介護、年金、教育といった社会保障の充実に力を入れる政策こそ必要」と強調し、講演を結びました。

「福祉はムダ」論を一喝、胸のすく思い

二宮先生のお話を聞き、胸のすく思いでした。この間、「構造改革」の名のもとに、毎年2200億円もの社会保障費が削られてきました。先生は「福祉はムダ」といわんばかりの論調や政策を真正面から批判するとともに、閉塞感ただよう日本の社会を打開してゆく力



は「社会保障の充実にある」と喝破されました。憲法9条と25条を後ろ盾に、道理あるたたかいをすすめてゆきたい。

区議会議員 のの山けん

池内さおり 衆院東京12区
青年運動部長

街頭での訴えをお聞き下さい

5月19日(火)

- 14:10 西友赤羽店前
- 14:40 ララガーデン入口
(東本通り交差点)
- 15:10 七溜商店会
- 15:40 ダイエー赤羽店前

※のの山けん区議会議員も訴えます

